

# 「学習指導要領実施状況調査」の実施について

令和3年7月15日  
第125回教育課程部会  
資料 3

## 1 調査目的

小、中、高等学校学習指導要領の次期改訂に資するため、今次改訂の改善事項を中心に、各教科等の目標や内容に照らした児童生徒の学習の実現状況について調査研究を行い、検討の基礎となる客観的データ等を得るとともに、教育課程の基準に係る課題の有無及びその内容等を検証・総括する。

## 2 調査内容

- ①今次改訂の基本方針に関する事項
- ②各教科等の主な改善事項（新設された事項、学年及び学校種を超えて移行した事項等）
- ③前回の調査等で課題とされている事項等

## 3 対象学校種・学年及び教科等

- ①小学校、中学校等：全教科等
  - ②高等学校等：検討中
- ※調査対象は各学校種の上級2～3学年を中心として実施。

## 4 抽出方法

原則として、層化2段無作為クラスター抽出法により、学校種ごとに抽出。（分冊方式）  
（前回実績）

- ・小学校 1,023校 約12万人（1冊子当たり3,000人）
- ・中学校 1,363校 約17万人（1冊子当たり3,600人）
- ・高等学校 1,213校 約12万人（1冊子当たり4,800人）

## 5 調査方法

- ペーパーテスト調査（選択式、短答式、記述式）、質問紙調査（対象は児童生徒、教師、学校）、実技調査等。

## 6 実施時期

	2021 令和3年度	2022 令和4年度	2023 令和5年度	2024 令和6年度	2025 令和7年度
小学校	予備調査	本調査	分析		
中学校		予備調査	本調査	分析	
高等学校			予備調査	本調査	分析

## 7 対象学年・教科（小学校）

対象学年	実施教科（ペーパーテスト調査）
第3学年	社会、理科
第4学年	国語、社会、算数、理科
第5学年	社会、算数、理科
第6学年	国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育（運動領域・保健領域）、外国語（英語）

※赤字は前回調査に追加

※上記教科は学年に応じて質問紙調査を併せて実施。この他、生活、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動は質問紙調査等により対応。

## 8 その他

- 今次改訂において、育成を目指す資質・能力が三つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）に整理されたことを踏まえる。等